

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2000-234025(P2000-234025A)

【公開日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平11-344791

【国際特許分類】

C 08 G 77/46 (2006.01)

C 08 G 77/44 (2006.01)

【F I】

C 08 G 77/46

C 08 G 77/44

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月13日(2006.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 シロキサン-オキシアルキレンコポリマー類の製造方法であって、(i)オルガノハイドロジエン-ポリシロキサンおよび(ii)不飽和ポリオキシアルキレンを、(ii)アミン(ここで、当該アミンの沸点は大気圧下で220以下である)、および(iv)触媒として有効な量の貴金属ヒドロシリル化触媒の存在下で反応させることを含む当該シロキサン-オキシアルキレンコポリマー類の製造方法。

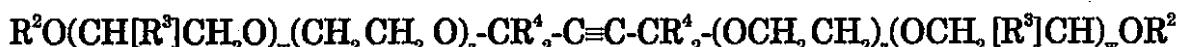
【請求項2】 任意に存在し得る溶媒中で行い、前記方法が、(1)(i)平均式：[R<sub>a</sub>H<sub>b</sub>SiO<sub>(4-a-b)/2</sub>]<sub>n</sub>(式中、Rは脂肪族不飽和を含まない一価炭化水素基であって1～8個の炭素原子有し、aの平均値は1～3であり、bの平均値は0.01～1.5であり、a+bの合計の平均値が1～3であり、そしてnは2～200の値を有するシロキサン単位の数である。)を有するオルガノハイドロジエンシロキサン、(ii)平均式：

【化1】



または

【化2】



(式中、R<sup>1</sup>は2～10個の炭素原子を含有する不飽和炭化水素基を表し、R<sup>2</sup>はR<sup>1</sup>、水素、1～8個の炭素原子を含有するアルキル基、2～8個の炭素原子を有するアシル基、またはトリアルキルシリル基であり、R<sup>3</sup>は1～18個の炭素原子を含有する一価の炭化水素基であり、R<sup>4</sup>はR<sup>3</sup>または水素であり、zの値は0～100であり、そしてwの値は0～80である)を有する少なくとも1個のポリオキシアルキレンならびに、(iii)ヒドロキシル、カルボニル、もしくはエーテル官能性を持ち、大気圧で220未満の沸点を有し、アルキル基を有する少なくとも1個のアミン：の混合物を形成し、(2)当該混合物の温度を維持してオルガノハイドロジエンシロキサンとポリオキシアルキレンとの反応を促進させ、そして(3)当該混合物に有効量のヒドロシリル化貴金属触媒を与え、そして(4)220未満の温度に維持して反応を終了させ、そして(5)コポリマーを回収する各工程を含む、請求項1に記載の方法。

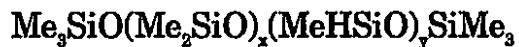
【請求項3】 前記ポリオキシアルキレンの平均式が：

【化3】



(式中、zおよびwの値が0～50である)であり、オルガノハイドロジエンポリシロキサンの平均式が：

【化4】



(式中、Meはメチル基であり、xの値が0～200であり、yの値が1～25である)である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 前記アミンが、式：

【化5】



(式中、R<sup>5</sup>は水素、1～8個の炭素原子を有するアルキル基、6～10個の炭素原子を有するアリール基、3～8個の炭素原子を有するアルケニル基であり、tは0、1、または2であり、R<sup>6</sup>はR<sup>5</sup>(同じかもしくは異なる)であり、uは0、1、または2であり、R<sup>7</sup>はヒドロキシル、エーテルもしくはカルボニル官能基を持つ2～10個の炭素原子を有するアルキル基であり、vは1であり、t+u=2である。但し、このアミンの沸点は大気圧で220未満である。)を有する請求項1に記載の方法。